

参加された皆様の感想

当日は感想を伺う時間が取れなかったため、あとで感想を送っていただくことにしました。文字数の関係で書き切れなかった方もいらっしゃいました。ありがとうございました。

校長 川中子登志雄

Hさん 「すごく盛り上がりましたね。ありがとうございました。宿題についてそのあと考えてみました。小学生のうちに身につけてほしいことで家庭学習でできることは2点だと思います。1.家で勉強するくせ。2.勉強のたのしき。この2点にしばらく、好きな科目やテーマを見つけて、1日15分でもいいからやってみましょう。車や電車、動物の研究でもいいし、授業や見学、修学旅行などで体験したことへの深堀でもいいです。」

Qさん 「画期的なテーマで参加人数からも関心が高いことがわかりました。個人差があるものですので、学力や習熟度別に補修課題としての形ではとも思いました。それを判断する先生も大変なので、AIも活用いいなど。

別件ですが、ミライシードの先取りですが、1年生は習っていない単元はすすめないです。次女は1年生の単元は理解しているのでチャレンジさせたいです。」

Aさん 「貴重なお話ありがとうございました。「なんで宿題なくなっちゃうの?」と思い、先生方の意見が聞きたい。と参加しました。色々な意見を聞き、改めて宿題について考えさせられました。そして子どもに合った家庭学習は、とても良いなと考えが少し変わりました。でも低学年はまだ学習の習慣を身に付けたい!意味で出していただけると良いと思っています。」

Wさん 「興味深い内容だし、身近な内容だったので、参加し易いとおもいました。3年生になってから、要領がよくなったり、学校に慣れたのか、宿題についてかんがえたり、親子で話す機会が頻繁ありましたので、今日の内容は大変ありがたかったです。サロンに行くまえは、宿題はあったほうがよいのでは?との考えでしたが…先生のお話をきいたら、少しずつでもなくしていったほうが良いかな??!!とおもえました。」

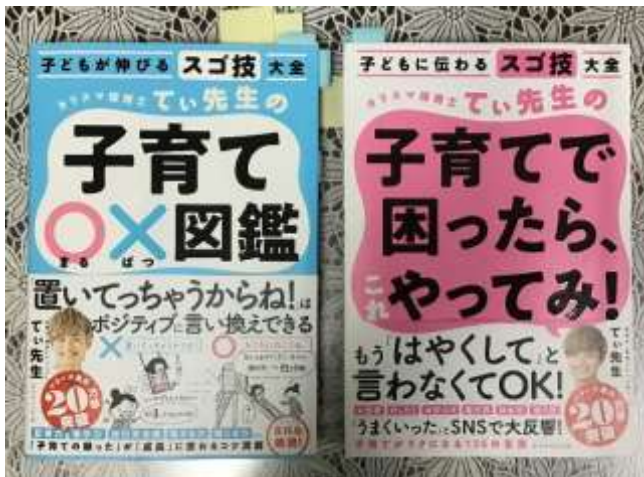
Fさん 「習熟とは何か、考えさせられました」

Oさん 「宿題についての語らいサロン、とても有意義で興味深いものでした。宿題の価値観は様々ですが、宿題が無いとしても子どもの自己肯定感が高まることで学習意欲が湧く事に気付きました。また、先生方の負担軽減という考え方もなるほどと思いました。家庭でも声かけをして、学校、家庭双方で協力できたらいいなと感じました。」

Iさん 「宿題についてみなさんや校長先生の話を書きいて意見交換をすることができて

視野が広がりました。家に帰ってから我が家の子どもたち 3 人に宿題がなくなったら家で勉強する？って聞いてみました。3 人とも宿題なかったらやらないって答えていました。でも長女、次女は好きなことをしていいなら嬉しいと話し、息子は家でなにをしていいかわからないからやりたくないと話していました。子供のタイプによっても意見が分かれると思いました。」

B さん 「宿題をなくすということに初めは驚きましたが、話を聞いていくにつれて主体性がどちらかというとなない息子たちも、もしかしたら時間をかけて自主性が出てくるのではないかと期待したい部分もありました。意見交換などとても充実した時間でした。本日はありがとうございました。校長先生が持ってきてくださった育児本の題名が気になります。またどこかでご紹介していただきたいです。」



これです！

てい先生という、保育士さんの書かれた本ですが、YouTubeでもたくさん公開されていますので、お勧めです。学校にお呼びしようと思って交渉をしているのですが、もしかしたら講演料の関係で×？

U さん 「色々な話が出来てよかったです！ 宿題も次の時代へ、進化が必要なことがわかりました。量から質へ、子どもの取り組みにも目を向けていければと思います。」

D さん 「先日はありがとうございました。宿題を無くし、自発的に家庭学習が出来るのか？と不安もありますが、サロンでお話を聞く中で、親や学校の先生からのフォローもありつつなら、少しずつ実現させていくことは可能なのではないかと感じました。親が子どもに関わる時間を作る事も大事な事だと思います。しかし実際そのような時間が取れない親や無関心な親の場合、全く勉強をしない子と格差が出来てしまうのでは？とも感じます。」

T さん 「先日は先生方や皆さんの話が聞けて、参加して良かったです。ありがとうございました。結果、一番感じたのは低学年と高学年で宿題に対する保護者の希望が違うということ。5年生で家庭学習が身につく子は選択制、もしくはトップピングのみ。を希望致します。とはいえ、低学年からの宿題のお陰で今があると思います。低学年はやはり宿題が必要なのかなと感じました。今後ともよろしくお願いたします。」

- Rさん 「川中子校長先生、いつも大変お世話になります。今回初めてサロンに参加いたしました。私個人としては、宿題をなくすことについて大賛成なのですが、一旦持ち帰って家族でも話し合い、子どもたち(1年生と3年生)も交えて議論をしました。その結果、「将来の夢」の話や「自分たちが生まれてきた意味」の話にまで派生し、来週も継続して家族で議論を交えることになりました。」
- Nさん 「川中子先生の話しを聞き宿題のあり方を考えた時に、子どもにとってはやられている感覚なんだと気づけました。また、手山先生や小倉先生の本音トークも貴重でした。最後に参加された方同士のディスカッションでは、宿題を週2、3回にして出さない日を自主学習にしたらどうか。お試しで1週間宿題を出さずに自主学習を行ってみて子どもの様子を見てみたい等意見が交換できたのが非常に有意義な時間でした。」
- Kさん 「低学年は今までの形式で良いと思います。中高学年の漢字練習はテストで間違っただけを練習させる方が効率的なのではないか。計算練習は反復練習による成果があるので、ドリルの宿題があっても良いと思います。少人数別クラスでの宿題があっても良いのでは。トッピングはテーマが自分の得意なものに偏らない様にフォローが必要だと思います。」
- Sさん 「当たり前に出されるのが宿題と思っていましたが、「宿題無し」という考え(子どもの主体性の成長を考えた時の一つの選択)があることにまず、驚きました。宿題無しになったら、自分の子どもは何もしないのではないかと真っ先に想像しますが、校長先生のお話を聞いたり、他の保護者の方とお話しているうちに実はそれも思い込みで、いざ宿題無しになったら自分で取り組んでいくようになるのかな、と期待を持ちつつ思いました。」
- Cさん 「本日は有意義な時間を有難うございました。小学校の基礎学力は大切だと考えております。特に低学年のうちは家庭学習の習慣化の為にも、宿題はあった方が良いと考えています。ですが3、4年生以上になると中学受験する家庭と、しない家庭ではスタンスが変わってくると思うので、従来の宿題と自分で取り組む家庭学習(塾の宿題なども含む)を選択できるようになると良いのではと思います。思いつくまま失礼いたしました。」